



【校訓】 生命かがやく子 ～ 自ら学び 心豊かで 健康な子 ～

《学校教育目標》
温かい人間関係を生かした活気ある学校づくり



小学校学習指導要領
福井県教育振興計画
越前市教育振興ビジョン
学校業務改善方針

| 【めざす児童像】 | 【めざす教師像】 | 【めざす学校像】 |
|---|---|--|
| ① すすんで学ぶ子 ② なかよく助け合う子 ③ 心と体をきたえる子 | ① 児童一人一人を大切にする教師 ② 学ぶ楽しさを伝えることができる教師 ③ 真心で人と接することができる教師 | ① 学ぶ喜びが味わえる楽しい学校 ② 豊かな心が育つ美しい学校 ③ 生命を尊び健康で安全な明るい学校 |

【重点目標】

《A 確かな学び》

- ◎対話のある深い学びの追究
- 「めあて」～「振り返り」のある授業実践
- 読書習慣から主体的な読みの育成

《B 温かい人間関係》

- ◎ いじめのない人間関係づくり
- 違いを認め高め合う集団の育成
- 児童がやりがいを感じる活動の精選

《C 豊かな心と強い体》

- 特別支援教育の推進
- 運動好きな子の育成
- 健康な生活リズム・食生活の定着
- ◎ 命の教育の充実

《D 家庭・地域との連携》

- ◎ 地域と関わり合える学校づくり
- 双方向による情報の発信・受信
- 学校行事にかかる負担軽減
- スマートルール作りの啓発

【具体的取組】

- ① 主体的・対話的で深い学びのある授業を追究し、一人1授業や学校公開、学年部会を利用して学期に1回授業をする。
- ② 基礎基本が定着する授業形態を伝承し、クラス格差を生じさせない校内OJTの機会を、学年ごとに年間5回設ける。
- ③ 「読書の町宣言」を活かし、読ませたい本・読みたい本が近くにある読書環境を整え、児童・保護者の読書満足度を80%にする。

- ① いじめ根絶のため、保護者の協力も得ながら全員で情報を共有化し、チームで動けるよういじめ防止研修を年間3回行う。
- ② 構成的グループエンカウンターを月2回実施することで、一人ひとりのよさを互いに認め合える学級・学校に育て、クラス満足度を90%にする。
- ③ 計画から実施まで児童が主体的に関わる、学級や学年・全校の活動を積極的に支援し、年間3回実践させる。

- ① 学級で個別支援の必要な児童を見逃さず、声をかけることで自尊心を持たせ、居心地のいい学校と90%が思えるようにする。
- ② 体育や休み時間、放課後活動さらには自宅で進んで体を動かそうという意欲を高め、運動好きを80%に引き上げる。
- ③ 基本的な生活習慣(早寝早起き朝ご飯・ノーゲーム・目と歯の健康)を80%の児童に確立する。
- ④ 命の大切さを伝える道徳教育を教育活動全般で推進し、100%の児童が命を尊重できるようにする。

- ① 地域の人たちと触れ合う活動を、計画的に年間3回行う。
- ② お便り・HP・緊急メールで情報を発信し、確実に受信してもらえるよう工夫することで、情報伝達満足度90%にする。
- ③ 家庭・地域・学校協議会の意見を取り入れ、学校行事に関わる働き方改革を推進することで、PTA・子ども・教職員が負担を軽減し、行事満足度80%にする。
- ④ SNSによるトラブル防止のために、スマートルールづくりを各家庭に浸透させ、90%の児童がルールを守れるようにする。

(教育の質を高めるための学校における働き方の改善に向けた取組)
◎業務を19時30分までと決め、仕事の効率化を全教職員が真剣に考え行動に表す。

本年度の研究テーマ 『互いに認め合い、考えや思いを伝え合うことができる児童の育成 ～「聴く」しかけを意識した授業づくり～』